

里見佳昭先生が2023年2月5日にご逝去されました。

ここに謹んでお悔み申し上げ、お知らせいたします。

里見先生は長く横須賀共済病院の泌尿器科部長を勤められ、多くの優秀な泌尿器科医を育てられました。先生は腎癌の研究にも熱心に取り組み、腎癌の予後因子としての炎症反応(ESR, CRP)の意義について世界に先駆け、1973年に報告されました。

腎癌研究会の発足にあたって中心的メンバーとして活躍され、初代の世話人代表(1991-1993)、第2代会長(1993-1995)をつとめられました。

先生の素晴らしい人間性、研究に対する真摯な姿勢に惹かれ、腎癌に興味を持つ多くの医師が腎癌研究会に参集し、日本の腎癌診断治療の発展に大きく寄与されました。

ご生前のご厚情に深謝するとともに、故人のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

※第40回腎癌研究会 記念大会にて



※左から村井 勝先生(4代目会長)、川村 壽一先生(3代目会長)、  
里見 佳昭先生(2代目会長)、町田 豊平先生(初代会長)  
内藤 誠二先生(5代目会長)